

11月は、児童虐待防止推進月間です。



オレンジリボンには
 子供虐待を防止するという
 メッセージが込められています。

あなたの1本のお電話で救われる子供がいます。

児童虐待かと思ったらすぐにお電話ください。



お住まいの地域の
 児童相談所に
 つながります。



出産や子育てに関する悩みや相談がある人は、
 児童相談所・市町村へお気軽にご相談ください。

- 大分県中津児童相談所 ☎0979-22-2025
- こども家庭相談室(市役所1階) ☎228230
- 児童家庭支援センター「陽」☎298722
- 大分県日田警察署 ☎232131
- 大分県西部保健所 ☎233133
- 大分地方法務局日田支局 ☎222719

連絡は匿名で行うこともできます。連絡者や連絡内容に関する秘密は守られます。

児童虐待とは？

身体的虐待

殴る、蹴る、叩く、溺れさせる、やけどを負わせる、家の外に締め出すなど

性的虐待

子供への性的行為、性的行為を見せる、ポルノグラフィの被写体にするなど

ネグレクト

乳幼児を家に残して外出する、食事を与えない、自動車の中に放置するなど

心理的虐待

言葉で脅かす、無視する、子供の目の前で家族に暴力を振るうなど

☎こども家庭相談室こども家庭相談係 ☎228230 (市役所1階)

市長コラム

01

虫の目と鳥の目と魚の目と

このタイトルは、私の座右の銘です。
 次回、その意味や理由をお伝えします。

日田市長
 棕野美智子



市長は元気で笑顔で！

「身体だけは気を付けて」
 たくさんの市民が声を掛けてくれます。

市長に就任してから3か月、忙しさは想定を超えていました。来客、会議、議会、県外出張、合間を縫って内部の政策協議。そんな中、コロナの5類移行で“イベントは満開”。お祭り好きの私としては、「あれも出たい、これも行きたい！」でも、なかなか時間が取れません。

放生会も最終日の夜にやっと行けました。若い人たちでいっぱい、高校生が「応援しています」と声を掛けてくれました。

9月議会にも、傍聴席が満員になるほどの市民が来てくれました。市民が市政に関心を持ち、市が「何をしてくれるか」ではなく、市のために「応援しています」「何をしたらいいですか」と言ってくれることが何よりも元気の源です。

市長は元気で笑顔で、できたらキレイでいなければ！

一緒に元気な日田市を取り戻しましょう。



広報ひたは、資源保護のため植物油インキを使用しています。



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。